

VMware Subscription Purchasing Program (SPP) ガイド



概要.....	4
プログラムの特長.....	4
プログラムの特典.....	4
ご利用を始めるには.....	5
詳細情報.....	5
SPP の概要.....	6
SPP の基本的な用語と定義.....	6
プログラム ルール.....	8
登録.....	8
VPP のお客様.....	9
初期購入.....	9
販売終了 (EOL).....	9
対象となるサービスと今後の予定.....	9
サブスクリプション サービス クレジットの引き換え.....	10
割引.....	11
サービスの提供.....	11
アドオン サービス.....	11
サービスの利用条件.....	12
課金.....	12
月単位または年単位の定期課金.....	12
役割と責任.....	13
My VMware でのファンド残高管理.....	13
更新.....	13

レポート作成の要件.....	14
関連会社	14
チャンネル	14
ポリシー	14
価格設定 / 料金表	14
財務的責任.....	15
途中解約	15
複数の SPP ファンド (FUND) と契約	15
支払い方法の変更	15
サービス ID (SID) のパートナーの変更.....	16
ファンド残高、料金表、およびサービス ID (SID) の通貨の変更.....	16
返品と交換.....	16
過失による引き換えの誤り	16
EPP トークン、SPP クレジット、CCPP クレジット	16
SPP 期間の終了	16

概要

VMware® 購入プログラムは、VMware の製品とサービスを柔軟性と費用対効果に優れた方法で購入していただけるプログラムです。リセラー経由による小規模なご購入の場合でも、大規模で戦略的なご購入をお考えの場合でも、貴社のニーズに適した VMware 購入プログラムをご用意しています。

Subscription Purchasing Program (SPP) は、「サブスクリプション サービス クレジット」という形式を通じて VMware サブスクリプション サービスを柔軟に購入できるプログラムです。サブスクリプション サービス クレジットとは、クレジットを「ファンド残高」として VMware との取引通貨建てで預けておき、SPP ELIGIBILITY MATRIX (SPP 対象サービス一覧表) に記載されたさまざまな VMware サブスクリプション サービスと引き換えることができるしくみです。

プログラムの特長

- VMware サブスクリプション サービスの提供を、セルフ サービスで必要に応じて要求可能
- ファンド残高の一元管理と個別管理が可能。これにより、ファンド残高をさまざまな部門、プロジェクト、ユーザーに割り当てることができます
- ファンド残高をいつでも追加可能
- 新しいサービスの提供、既存サービスへの追加¹、サービスの更新、サービスの定期コストや超過分への充当など、ファンド残高の柔軟な使用が可能

- 透明性のある価格設定。お客様の自社の通貨建てのファンド残高に照らしながらサービスの希望小売価格 (MSRP) コストを簡単に追跡できます

プログラムの特典

- VMware サブスクリプション クレジットの購入時の割引² と、利用したサービスの数量と期間に応じてボリューム ディスカウント³ を提供
- 期間 (1 か月～ 3 年) や課金方式 (月払い、年払い、前払い) など VMware サブスクリプション サービスの柔軟な組み合わせが可能
- サービス コスト、定期コスト、および使用量に基づくコストの支払いには、まずファンド残高が使用されるため、発注書を毎月作成する必要がなく、サブスクリプション サービスの利用が容易
- 購入いただいたクレジットを将来にわたって保証。SPP ELIGIBILITY MATRIX (SPP 対象サービス一覧表) に記載されたすべてのサブスクリプション サービスは、初期購入以降にリリースされたサービスにも、クレジットを使用可能
- My VMware で提供するセルフ サービス レポートを通じて、お客様の引き換えを追跡して管理

² ディスカウントの計算は、VMware のその時点での各地域の MSRP 価格によって行われます。VMware では、リセラーを通じて購入される製品やサービスに対して最終的な価格および支払条件を設定していません。最終的な価格および支払条件は、お客様とリセラーとの間で締結された契約によって決定されます。

³ これらのディスカウントは、各サービスの区分構成に基づく引き換え価格の減額として提供されます。

¹ 詳細は、11 ページをご覧ください。

ご利用を始めるには

サブスクリプション サービス クレジットを購入する前に、次の作業を行っていただく必要があります。

- VMware 購入プログラムへの登録： VMware Purchasing Programs のページ (www.vmware.com/go/purchasenow (英語)) で SPP に登録してください。登録フォームに入力すると、お客様を SPP ファンド (FUND) オーナーとして識別するための VMware 購入プログラムメンバーシップ番号が届きます。すでに VMware 購入プログラムへの登録がお済みの場合は、現在のメンバーシップ番号を使用して SPP ファンド (FUND) オーナーとしてご登録いただけます。
- SPP クレジットを算出するための需要の計算： SPP Configurator を使用して、契約期間における VMware サブスクリプション サービスの需要を見積もります。SPP の対象サービスには、それぞれ通貨建てのクレジット価格が設定されています。SPP Configurator により、サービスの需要予測をもとにクレジットの推奨金額が算出されます。
- SPP パートナーまたは VMware 営業担当者への連絡： VMware の認定パートナーまたは営業担当者にお問い合わせ、見積もった需要を満たせる数のクレジットを購入してください。SPP の発注書には、VMware 購入プログラムメンバーシップ番号、ファンド (Fund) オーナー番号、および My VMware エンタイトルメント アカウント (EA) 番号を記載してください。
- SPP クレジットの購入後は、次の操作を実行できます。

- My VMware へのログイン： My VMware の SPP に関するページにアクセスし、購入した SPP ファンド (FUND) 残高を表示して管理できます。
- クレジットの引き換え： My VMware の SPP のページで、通貨建ての SPP クレジットをさまざまなサブスクリプション サービスと引き換えることができます。
- SPP プログラム ガイドの確認： お客様の参加と購入は、SPP プログラム ガイド (www.vmware.com/go/purchasenow (英語)) に記載されている利用条件の適用を受けます。

詳細情報

SPP の詳細については、VMware 購入プログラムのページ (www.vmware.com/go/spp (英語)) をご覧ください。

米国の公共機関のお客様には、資格制限が適用されます。対象のお客様には、州政府や地方自治体のお客様などが含まれます。米国連邦政府機関のお客様は、本プログラムをご利用いただけません。米国公共機関のお客様が SPP クレジットを購入する契約を締結すると、適用される法律および規制によってサブスクリプションの購入と前払いが許可されたことを証明していると見なされます。

このプログラム ガイドには、SPP の諸条件が記載されています。VMware は、任意の時期に、独自の裁量で、本プログラム ガイドを修正する権利を留保します。また、それらの修正はすべて、修正の発効日より、SPP クレジットの購入および SPP ファンド (FUND) 残高に適用されるものとします。

SPP の概要

初期購入や追加購入で推奨される最低取引規模	1年間のサブスクリプション サービスまたは VMware や VMware 認定パートナーとの契約期間のコストをカバーする規模
利用可能なサブスクリプション サービス	将来のリリースを含めて、VMware の価格表に記載されているさまざまなサブスクリプション サービス (詳細については SPP Eligibility Matrix (SPP 対象サービス一覧表) を参照ください)
サービスの利用条件	お客様が引き換えた各 VMware サブスクリプション サービスを使用する権利は、サービスの利用条件 (TOS) の適用を受けます (TOS については、 www.vmware.com/jp/download/eula/ をご覧ください)
SPP クレジット期間	特に指定がない限り、1年間
SPP サービス期間	引き換えたサブスクリプション サービスの期間に相当
対象となるお客様	企業および教育機関

SPP の基本的な用語と定義

VMware 購入プログラム メンバーシップ： Enterprise Purchasing Program (EPP) または Subscription Services Purchasing Program (SPP) のお客様が、Volume Purchasing Program (VPP) を通じて購入するには、まず VMware の購入プログラムに登録してメンバーになる必要があります。登録が完了すると、お客様に VMware 購入プログラム メンバーシップ番号が届きます。

サブスクリプション サービス クレジット (SPP クレジット)： VMware との取引に使用されている現地通貨建ての価値単位。SPP のお客様は、SPP クレジットを購入して、SPP ELIGIBILITY MATRIX (SPP 対象サービス一覧表) に記載された VMware サブスクリプション サービスと引き換えることができます。

ファンド (Fund) オーナー： 登録を実行したユーザー、または登録時にパートナーによって指定されたユーザー。My VMware ポータルで SPP クレジットの購入、受け取り、および引き換えを行う権限が付与されます。ファンド (Fund) オーナーは、任意のファンド ユーザー (Fund User) を指定して SPP クレジットを付与したり、複数

の SPP ファンド (FUND) を管理したりすることもできます。

ファンド ユーザー (Fund User)： SPP ファンド (FUND) オーナーにより特定のファンド残高に対して指定されたユーザー。指定されたファンド ユーザー (Fund User) は、My VMware ポータルで SPP クレジットを引き換えることができます。

ファンド残高： ファンド残高は、VMware との取引通貨建て⁴ になっており、VMware サブスクリプション サービスとの引き換えに使用できる最高額です。ファンド残高は、複数の SPP クレジット購入で構成されることがあります。SPP クレジットの購入ごとにそれぞれ 1 つのファンド (Fund) となり、すべて集計されて 1 件のファンド残高として扱われます。SPP のお客様は、複数のファンド残高を所有できます。

⁴ 米ドル、ユーロ、英国ポンド、日本円、オーストラリア ドル、および現地ドル (該当する場合)

ファンド (Fund) : SPP のお客様が購入した SPP クレジットのオンライン リポジトリ。ファンド (Fund) は、VMware との取引に使用されている現地通貨建てで、MSRP 価格に相当します。SPP クレジットの各購入には、有効期限が設定されます。

利用可能な SPP ファンド (FUND) / ファンド残高 : お客様は、SPP クレジットの購入ごとに設定される期間内に、ファンド残高を使用する必要があります。有効期限に達する前のファンド (Fund) は、「利用可能な SPP ファンド (FUND)」と呼ばれます。ファンド残高は、それぞれに有効期限のある複数の利用可能な SPP ファンド (FUND) で構成されることがあります。1 人の SPP ファンド (FUND) オーナーまたはファンド ユーザー (Fund User) が、複数の利用可能なファンド残高を一括して管理したり引き換えを行ったりすることができます。ただし、ファンド (Fund) オーナーやファンド ユーザー (Fund User) は、複数の利用可能な SPP ファンド (FUND) 残高を統合または組み合わせ、1 つの VMware サブスクリプション サービスと引き換えることはできません。

期限切れの SPP ファンド (FUND) / ファンド残高 : お客様は、SPP クレジットの購入ごとに設定される期間内に、ファンド残高をすべて使い切る必要があります。有効期限に達したファンド (Fund) は、「期限切れの SPP ファンド (FUND)」と呼ばれます。ファンド (Fund) が期限切れになると、ファンド (Fund) オーナーは、期限切れのファンド (Fund) に関する引き換えレポートのダウンロード以外は実行できなくなり、期限切れのファンド (Fund) に関連付けられた残高は一切引き換えができなくなります。ファンド残高は、それぞれに有効期限のある複数の SPP ファンド (FUND) で構成されることがあります。ファンド残高内の特定のファンド (Fund) が期限切れになると、ファンド残高の合算からも除外されます。ファンド (Fund) の有効期限日以降に発生する課金には、このファンド (Fund) は適用されません。

SPP 期間 : SPP クレジットの各購入の有効期間は、VMware または VMware 認定パートナーとの契約で特に指定されていない限り、1 年間です。開始日は、SPP クレジットの注文が VMware に受理された日です。ファンド (Fund) オーナーおよびファンド ユーザー (Fund User) は、SPP 期間中にファンド残高をサブスクリプション サービスと引き換える必要があります。引き換えまたは使用されなかったファンド残高は、各期間の終了とともに期限切れになります。ファンド残高は、それぞれに有効期限のある複数の SPP ファンド (FUND)⁵ で構成されることがあります。ファンド残高内の特定のファンド (Fund) が期限切れになると、ファンド残高の合算からも除外されます。

SPP サービス期間 : VMware サブスクリプション サービスには、1 か月から 3 年までの間で期間が設定されています。サービス期間の開始日は、サービスが VMware によって提供された日であり、お客様がサービスを引き換えた日ではありません。サービス期間は SPP 期間より長くなることも、短くなることも、または同じになることもあります。

SPP クレジットの初回注文 : SPP に参加するには、ファンド (Fund) オーナーが SPP クレジットを購入する必要があります。これを、SPP クレジットの初回注文と呼びます。この購入では、SPP クレジット SKU を使用して、SPP クレジットの初回注文を行います。購入した SPP クレジットは、お客様の My VMware アカウントに、VMware との取引の通貨建てのファンド残高として反映されます。

⁵ 複数の SPP クレジットを購入した場合

追加注文： SPP ファンド (FUND) オーナーは、SPP クレジットを追加購入して、ファンド残高を増やすことができます。ファンド (Fund) オーナー、エンタイトルメント アカウント番号、および取引通貨が同じである限り、SPP クレジットを追加購入すると、既存の SPP ファンド (FUND) 残高が増額されます。3 つの条件のいずれかが異なる場合は、SPP クレジットを注文すると、新たにファンド残高が作成されます。

My VMware： My VMware は、アカウント ベースの統合型ポータルです。お客様は、重要な機能にすばやくアクセスできる直感的な画面操作により、製品ライセンスの表示と管理、EPP トークンと SPP クレジットのサポートと引き換えを実行できます。

サービス ID (SID)： 有効期限が同じ関連サービスをまとめたグループ用の一意の識別子。グループ化を行うには、「アドオン」サービスを購入して既存のサービス ID (SID) に割り当てます。最初の購入をベースにアドオン サービスの購入をグループ化すると、サービス コンポーネントの結合、課金の統合、関連アイテムの契約満了日の調整が可能になります。

課金日： 課金日は、毎月お客様に対してサービス ID (SID) の課金が行われる日です。

SPP ELIGIBILITY MATRIX (SPP 対象サービス一覧表)： ファンド残高はオンラインで VMware サブスクリプション サービスと引き換えることができます。SPP ELIGIBILITY MATRIX (SPP 対象サービス一覧表) には、ファンド残高で引き換えが可能な一般公開済みの VMware サブスクリプション サービスの一部が記載されています。SPP ELIGIBILITY MATRIX (SPP 対象サービス一覧表) は毎月更新され、新しいサービスの追加や終了したサービスの削除が行われます。SPP ELIGIBILITY MATRIX (SPP 対象サービス一覧表) は、

www.vmware.com/go/purchasenow (英語) で入手できます。

プログラム ルール 登録

お客様は、VMware 購入プログラムのホームページ (www.vmware.com/go/purchasenow (英語)) から SPP に登録できます。登録の際、お客様は自身を SPP ファンド (FUND) オーナーに指定します。VMware 認定パートナーがお客様を SPP ファンド (FUND) オーナーに指定する場合があります。お客様は、新規メンバーとして VMware 購入プログラムに登録するか、既存のメンバーシップに SPP ステータスを追加することができます。既存の VMware 購入プログラムに加入している企業の関連会社に所属するユーザーは、親会社の VMware 購入プログラムへの加入をリクエストできるほか、SPP ファンド (FUND) オーナーに志願することもできます。関連会社は、SPP の発注書を発行する前に、親会社のプライマリ メンバーシップ管理者 (PMA) から承認を受ける必要があります。

VMware の購入プログラムに新しく登録したお客様には、VMware 購入プログラム メンバーシップ番号が付与されます。今後 SPP または VPP の発注書を発行する際は、このメンバーシップ番号を使用します。既存の VMware 購入プログラム メンバーシップに SPP ステータスを追加したお客様には、新しいメンバーシップ番号は付与されません。SPP または VPP の発注書を発行する際は、引き続き既存のメンバーシップ番号を使用します。

1 つの VMware 購入プログラム メンバーシップには複数の SPP ファンド (FUND) オーナーを設定できます (多対一の関係) が、各 SPP ファンド (FUND) およびそれらで構成されるファンド残高にはファンド (Fund) オーナーを 1 人しか設定できません (一対一の関係)。

VPP のお客様

既存の VPP のお客様が SPP クレジットを購入した場合は、VPP の利用条件に従い、対象となる VPP のポイントが蓄積されます⁶。たとえば、受理された SPP 対象注文にお客様の VPP 番号が記載されていれば、SPP クレジットを 300,000 ドル購入したお客様には 3,000 VPP ポイントが付与されます。

初期購入

SPP クレジットを購入するには、SPP ファンド (FUND) オーナーが SPP クレジット SKU の発注書を VMware に発行します。SPP クレジット SKU の 1 単位は、お客様の購入に適用される価格表に基づく換算価値を表します。米国の価格表で購入する場合、SPP クレジット SKU の 1 単位は、100 米ドル (MSRP) に相当します。その他の国では、SKU の 1 単位は、100 ユーロ、100 英国ポンド、100 オーストラリア ドル、10,000 円、または 100 現地ドル (該当する場合) に相当します。価格はすべて MSRP です。SPP SKU は、お客様固有のニーズや予算に合わせて、複数の数量を注文することができます。

例： VMware サブスクリプション サービス用に 300,000 米ドル (MSRP) が必要な場合、SPP ファンド (FUND) オーナーは、SPP クレジット SKU 3,000 単位の発注書を発行します。注文が受理されると、300,000 米ドルのファンド残高が作成されます (100 ドル x 3,000 単位 = 300,000 ドル分⁷ の SPP クレジット)。SPP 発注書が受理されると、My VMware ポータルでは自動的に (発注書の記載にしたがって) 適切な SPP ファンド (FUND) 残高が SPP ダッシュボード ページに追加されます。ファンド (Fund) オーナーには、My VMware

にログインして、購入したクレジットの管理や引き換えを行う手順が記載された E メールが届きます。

販売終了 (EOL)

VMware では定期的に、一部の VMware サブスクリプション サービスを販売終了 (EOL) に指定します。EOL に指定されたサービスは VMware の価格表での販売が行われなくなり、SPP で引き換えることもできなくなります。EOL サービスは、VMware が設定した EOL の前日までであれば引き換えることができます。

対象となるサービスと今後の予定

ファンド (Fund) オーナーとファンド ユーザー (Fund User) は、ファンド残高をさまざまな VMware サブスクリプション サービスと引き換えることができます。SPP の引き換えの対象となる VMware サービスの一覧については、SPP ELIGIBILITY MATRIX (SPP 対象サービス一覧表) をご覧ください。

また、VMware では今後も、お客様の SPP 期間中に、対象サービスが一般公開された時点で、または公開後すみやかに、それらのサービスの一覧を追加します。対象サービスの一覧に今後追加されるものには、次のようなものがあります。

- お客様の SPP 期間の開始日以降に一般公開され、その時点の VMware 価格表に掲載されている VMware サブスクリプション サービス
- SPP Redemption Configurator または対象サービス一覧表に掲載されている VMware サブスクリプション サービス

⁶ VPP プログラム ガイドをご覧ください (www.vmware.com/go/purchasenow) (英語))

⁷ SPP クレジットの購入に割引が適用される場合がありますが、ファンド残高には常に購入の MSRP 価格が VMware との取引通貨で反映されます。

今後 SPP の引き換えの対象に含まれないサービスは、一般的に次のようなサービスです。

- SPP での提供を禁じたサードパーティの制限事項の適用を受ける VMware サブスクリプション サービス
- VMware 以外の事業者によってリリースされた VMware サブスクリプション サービスや、VMware が合併や買収、資産の購入によって取得した VMware サブスクリプション サービス
- VMware が特別に SPP の対象外として指定した VMware サブスクリプション サービス
- 法律の規定にしたがって SPP から除外された VMware サブスクリプション サービス

お客様がファンド残高をこれらのアドオン サービスと引き換える際は、利用可能なファンド (Fund) から引き換える必要がありますので、ご注意ください。

サブスクリプション サービス クレジットの引き換え

SPP クレジットを引き換えるには、ファンド (Fund) オーナーまたはファンド ユーザー (Fund User) が My VMware にログオンし、SPP のページにアクセスします。[Redeem (引き換え)] を選択し、SPP Configurator を使用してサービスとアドオン サービスを選択します。ファンド残高がサブスクリプション サービスの期間全体をカバーしていなくても、SPP クレジットをサブスクリプション サービスと引き換えることができます (前払いサービスを除く)。引き換えたサブスクリプション サービスを充当できるだけのファンド残高が残っていない場合は、SPP クレジットを追加購入する必要があります。お客様が引き換えの注文を行うと、その引き換えに相当する価格分がファンド残高から差し引かれます。次の表は、選択した支

払い方法⁸に応じてファンド残高がどのように差し引かれるかをまとめたものです。

	月払い	年払い	前払い
期間 1 か月	月単位	該当しない	該当しない
期間 3 か月	月単位	該当しない	1 回限り、前払い
期間 12 か月	月単位	年単位	1 回限り、前払い
期間 24 か月	月単位	年単位	1 回限り、前払い
期間 36 か月	月単位	年単位	1 回限り、前払い

誤解を避けるために付記しますと、定期払いの方式でサービスを引き換えた場合、お客様は、選択したサービスの価格に相当するファンド残高を維持する義務が生じます。このファンド残高は、上の表に示したとおり、定期的に差し引かれていきます (期間 3 か月や 12 か月などが該当)

例：お客様がクレジットを 24 か月のサービスと引き換えて月払いを選択した場合、引き換え時点ではサービスの月額分のみが差し引かれ、以降毎月同様に差し引かれていきます。同じサービスで年払いを選択した場合は、引き換え時にサービスの年額分が差し引かれ、以降毎年同様に差し引かれていきます。同じサービスで前払いを選択した場合は、引き換え時にサービスの全額分が差し引かれます。

⁸ 支払い方法は、購入したクレジット残高がファンド残高からどのように差し引かれるかを示しています。

割引

お客様が VMware または VMware 認定パートナーから SPP クレジットを購入する際に、割引⁹ が適用される場合があります。お客様のファンド残高には、お客様が実際に支払った価格にかかわらず、常に、購入した MSRP 価格が VMware との取引通貨建てで反映されます。期間が複数年のサービスと引き換え、前払いまたは年払いを選択すると、（1 か月のサービスや月払いに比べて）高い割引率が適用されます。たとえば、期間が 12 か月のサービスは、同じサービスで期間が 1 か月の場合よりも、1 か月あたりのコストを低く抑えられます。同様に、12 か月のサービスで前払いを選択すると、12 か月のサービスで月払いを選択したときよりも、毎月のコストが低くなります。これらの割引は、（1 か月サービスの月払いよりも）低い価格でのサービスの引き換えという形で提供されます。

サービスの提供

お客様から引き換への注文を受け取ると、VMware はサービスの利用条件（TOS）にしたがってサービスを提供します（TOS については www.vmware.com/jp/download/eula をご覧ください）。サービスの開始日は、引き換への注文が行なわれた日ではなく、サービスが提供された日となります。お客様が引き換えた各 VMware サブスクリプション サービスを使用する権利は、TOS の適用を受けます（TOS については、www.vmware.com/jp/download/eula/ を参照）。

アドオン サービス

お客様は、クレジットを SPP ELIGIBILITY MATRIX（SPP 対象サービス一覧表）に記載されたアドオン サービスと

引き換えることができます。クレジットの引き換えは、サービスの初期提供（引き換への注文）に含めることも、サービスが提供された後で行うこともできます。アドオン サービスの有効期間は常に、初期購入時に割り当てられたサービス ID（SID）と同じ期間になります。

初期購入時に SPP ファンドで引き換えられた SID に対してのみ SPP ファンドを利用してアドオン サービスを引き換えていただく必要があります。

例：お客様が 2014 年 11 月 1 日開始の 12 か月契約の SID に対して、お客様が 12 か月のファンド残高をアドオン サービスに引き換えを購入し、月払いを選択し、米国における月額（MSRP）が 100 米ドルだった場合を例にとります。このアドオン サービスは 2014 年 11 月 15 日に引き換えられ、購入されました。アドオン サービスは、2014 年 11 月 15 日～2015 年 10 月 30 日までの 12 か月のサービスとして月払いで購入されました。SID の課金日は、2014 年 11 月 15 日になります。

引き換えの際、お客様のファンド残高は、2014 年 11 月 15 日から 2014 年 11 月 30 日までを日割り計算した金額分、つまり 52.60 米ドル（MSRP）¹⁰ 差し引かれます（年間コスト 1,200 ドル / 365 日 × 16 日）。ファンド残高は、セクション「サブスクリプション サービス クレジットの引き換え」に記載されている表に基づいて差し引かれます。詳細については、セクション「月単位または年単位の定期課金」をご覧ください。

⁹ ディスカウントの計算は、VMware のその時点での各地域の MSRP 価格によって行われます。VMware では、リセラーを通じて購入されるライセンスに対して最終的な価格および支払条件を設定していません。最終的な価格および支払条件は、お客様とリセラーとの間で締結された契約によって決定されます。

¹⁰ ファンド残高は VMware との取引通貨で維持されます。

サービスの利用条件

お客様が引き換えた各 VMware サブスクリプションサービスの使用は、そのサービス向けの利用条件（TOS）の適用を受けます（TOS については、www.vmware.com/jp/download/eula/ をご覧ください）。

課金

SPP では、お客様は、新規サービスの提供要求、アドオンサービスと更新、毎月の定期的な請求、使用などに対して、毎月注文書を発行する必要がありません。使用可能なファンド残高は、毎月（または毎年）の引き換えの際に、引き換えたサービスのコストに相当する額が自動的に差し引かれます。これには、従量課金（使用量に基づくコスト）も含まれます。月単位および年単位の定期料金は、ファンド残高から先払いとして差し引かれます。ただし、従量課金（使用量に基づくコスト）コンポーネントの利用は、後払いとしてファンド残高から差し引かれます。お客様は、引き換えたサービスのコストをカバーできるだけのファンド残高を維持する必要があります。取引状態が良好なお客様は、ファンド残高がマイナスになっても、課金日から 30 日間まではマイナスのファンド残高を維持できます。これは、お客様が SPP クレジットを追加購入するための発注書を作成している間にサービスを中断させないための措置です。ファンド残高が足りない状態やマイナス残高が 30 日を超えて続いた場合は、TOS にしたがってサービスが停止されるか終了します（TOS については www.vmware.com/jp/download/eula/ をご覧ください）。

月単位または年単位の定期課金

VMware では、サービスが月払いか年払いかに応じて、お客様のファンド残高を月単位または年単位で自動的に減額し、お客様が引き換えたサービスのコストに充当します。月単位および年単位の定期料金は、ファンド残高から先払

いとして差し引かれます。ただし、使用量測定型のコンポーネントは、後払いとしてファンド残高から差し引かれます。サービスへの課金は、サービス ID（SID）単位で、各サービス ID（SID）の課金日に行われます。課金イベントまたは支払いは、お客様のファンド残高の減額を意味し、発注書の発行は必要ありません。複数のサービス ID（SID）をお持ちのお客様には、サービス ID（SID）ごとに課金日が設定されます。発注書は、お客様が SPP クレジットを追加購入するときのみ必要になります。

例：お客様は、米国での月額（MSRP）が 1,000 米ドルのサービスを月払いで利用し始めました。このサービスの課金日は、2014 年 10 月 1 日です。このお客様が、2014 年 10 月 15 日に、12 か月のアドオン サービスをクレジットで引き換え、月払いを選択しました。このアドオン サービスの米国での月額（MSRP）は 100 米ドルです。セクション「アドオン サービス」の説明に従うと、2014 年 10 月 15 日を引き換え日とした場合、お客様のファンド残高からは引き換え時に 52.60 米ドル（MSRP）が差し引かれます。ところが、実際にはサービスは、2014 年 10 月 20 日になってから提供されました。

2014 年 11 月 1 日になると、お客様のファンド残高からは、2014 年 11 月 1 日から 2014 年 11 月 30 日までの分として、下記の金額（米国、MSRP）が差し引かれます。

- 1) 1,000 ドル：月単位のサービス分
- 2) 100 ドル：アドオン サービスの購入分
- 3) -14.04 ドル：サービスが 2014 年 10 月 20 日に提供されたことによるアドオン サービスのクレジット¹¹

¹¹ このクレジットは、最初に差し引かれた金額と提供日に基づく実際のコストの差額です。

引き換え時、お客様のファンド残高から 52.60 米ドル (MSRP) が差し引かれました (2014 年 10 月 15 日から 2014 年 11 月 1 日までの日割) が、本来差し引かれる金額は 36.17 米ドルでした (2014 年 10 月 20 日から 2014 年 11 月 1 日までの日割)。この差額がお客様にクレジットで返金されています。

役割と責任

役割	ファンド (Fund) オーナー	ファンド ユーザー (Fund User)	サービス ID (SID) マネージャ
クレジットの管理	✓		
ユーザーの管理	✓		
クレジットの引き換え	✓	✓	✓ ¹²
引き換えレポートのダウンロード	✓	✓	

My VMware での ファンド残高管理

SPP ファンド (FUND) オーナーとファンド ユーザー (Fund User) (存在する場合) は、My VMware にログインし、SPP ダッシュボード ページで、新たに作成した SPP ファンド (FUND) 残高の表示や、SPP クレジットと VMware サブスクリプション サービスの引き換えを行います。ファンド残高には、購入した SPP クレジットの MSRP 価格が、VMware との取引で使用している通貨建てであらかじめ読み込まれています。ファンド残高は、SPP ファンド (FUND) オーナーやファンド ユーザー (Fund User) がクレジットを VMware サブスクリプション サービスと引き換えるたびに減額されます。また、月単位または年単位の定期課金や超過分については、自動的に減額されます。

¹² アドオン サービスのみ。サービス ID (SID) マネージャには、新しいサービスを引き換えるためのアクセス権がありません。

更新

お客様は、ファンド残高を使用して購入した既存の VMware サブスクリプション サービスの更新にも、ファンド残高を使用できます。SPP では、自動更新、セルフ サービス更新、発注書による手動更新の 3 種類の更新オプションが用意されています。ファンド残高を使用して購入したサービス ID (SID) はすべてデフォルトで、自動更新に設定されています。お客様は、My VMware のサブスクリプション サービスのページにログインして、購入オプションを変更できます。発注書による手動更新の場合、更新日の 30 日前までに発注書を発行する必要があります¹³。既存のサービス ID (SID) の更新を停止するには、My VMware ポータルでサービス ID (SID) の設定を変更します。

セルフ サービス更新の場合は、更新日の 90 日前¹⁴ から 15 日前の間に更新の構成を変更できます。変更を加えない限り、各サービス ID (SID) は、現在の構成、既存の期間と支払い方法 (ファンド残高の月単位、年単位、または前払いによる減額) を使用して自動的に更新されます。セルフ サービスによる変更では、キャパシティの追加と削減を行うことができますが、通貨の変更、パートナーの変更、ファンド残高の使用から月単位や年単位の発注書への支払い方法の変更はできません。詳細については、パートナーの変更、通貨の変更、および支払い方法の変更に関する各セクションをご覧ください。お客様は、前述の期間内であれば、構成に複数回、変更を加えることができます。VMware は更新日に、最後に保存された構成を処理します。

¹³ 月単位のサブスクリプションでは、更新日の 5 日前までに発注書を発行する必要があります。

¹⁴ 90 日前は、期間が 90 日間より長いサービス ID (SID) の場合。90 日間以下の場合、変更できるのは 30 日前。

レポート作成の要件

My VMware の SPP ダッシュボード ページには、強力なレポート作成機能が搭載されています。このレポートには、SKU、引き換えた数量、注文で差し引かれた金額、引き換えの発注日などが記載されます。レポートは、ファンド（Fund）オーナーとファンド ユーザー（Fund User）がダウンロードできます。ファンド ユーザー（Fund User）は、自分が実行した引き換えに関する詳細情報しか閲覧できませんが、ファンド（Fund）オーナーは、ファンド（Fund）に関連付けられたすべての引き換えに関する詳細を確認できます。

関連会社

ファンド（Fund）オーナーは、関連会社に対して SPP ファンド（FUND）残高の共有または譲渡をすることはできません。また、同じ企業傘下の複数の関連会社が 1 つの事業体としてファンド残高を統合し、SPP クレジットを購入することもできません。ただし、お客様が、承認された関連会社のファンド（Fund）オーナーとして登録し、各関連会社のために SPP クレジットを購入することはできます。関連会社が既存の VMware 購入プログラムに加入するには、次の条件をすべて満たす必要があります。(1) 親会社が 50% 以上を出資している。(2) 親会社の購入部門を通じて VMware サブスクリプション サービスを購入している。(3) 証券取引市場に独自の株式銘柄コードで上場していない。

チャネル

VMware のチャネル パートナーがお客様に SPP クレジットを販売する場合、パートナーは事前に VMware の承認を受けている必要があります。

ポリシー

価格設定 / 料金表

My VMware の SPP ダッシュボード ページには、ファンド残高が、購入時の VMware との取引通貨建ての MSRP 価格で反映されます。ファンド残高から減額する際の基準となる当該サービス用の料金表も、ファンド残高と同じ通貨建ての MSRP 価格に基づいて作成されています。この料金表には、期間が長いサービスの引き換えに適用される割引、ボリューム区分に基づくディスカウント、前払いまたは年払いオプションを選択した場合の割引も反映されています。

例：価格はすべて米ドル（MSRP）です。実際の価格は異なる場合があります。

	VMware vCloud Hybrid Service - 仮想プライベートクラウド A1A - 基本サブスクリプション - SSD 活用型 - 月払い	VMware vCloud Hybrid Service - 仮想プライベートクラウド A1A - 基本サブスクリプション - SSD 活用型 - 前払い ¹⁵
期間 1 か月	1,289 ドル/月	該当しない
期間 12 か月	1,237 ドル/月	1,211.67 ドル/月
期間 24 か月	1,186 ドル/月	1,160.00 ドル/月
期間 36 か月	1,134 ドル/月	1,109.00 ドル/月

価格設定の詳細については、該当するサービスの利用条件 (www.vmware.com/jp/download/eula) および関連するサービス概要をご覧ください。

¹⁵ 前払いオプションを選択すると、ファンド残高からサービスの全期間分が差し引かれます。表記されている月額額は、コストの比較のみを目的としています。

財務的責任

お客様は、引き換えたサービスのコストに充当できるだけのプラスのファンド残高を維持する必要があります。また、プラス残高を維持するために SPP クレジットを追加する際は、VMware または VMware 認定パートナーから購入する必要があります。お客様は、ファンド残高がマイナスになっても、課金日から 30 日間まではマイナスのファンド残高を維持できます。これは、お客様が SPP クレジットを追加購入するための発注書を作成している間にサービスを中断させないための措置です。ファンド残高が足りない状態やマイナス残高が 30 日を超えて続いた場合は、TOS にしたがってサービスが停止されるか終了します (TOS については www.vmware.com/jp/download/eula をご覧ください)。

途中解約

SPP では、初期購入時の期間が 12 か月以上の月払いサブスクリプションは、TOS で規定されているとおり、途中解約ができます (TOS については www.vmware.com/jp/download/eula をご覧ください)。

途中解約された場合でも、TOS に基づく料金が発生する場合があります。お支払いが必要な料金は、ファンド残高がある場合はファンド残高から差し引かれ、ファンド残高が不足している場合はお客様に請求されます。前払いサービスの場合、途中解約はできません。

複数の SPP ファンド (FUND) と契約

SPP ファンド (FUND) オーナーは、一度に複数の利用可能な SPP ファンド (FUND) 残高を所有し、管理することができます。ただし、SPP ファンド (FUND) オーナーおよびファンド ユーザー (Fund User) は、次のことを行うことはできません。

- 複数のファンド残高を組み合わせてサービスを引き換える。
- 2 つのファンド (Fund) 間で残高を移転する (両者の EA が同じであってもできません)。
- 通貨の異なる 2 つのファンド (Fund) 間で残高を移転する。

支払い方法の変更

SPP ファンド (FUND) 残高を使用してサービスを提供すると、そのサービス ID (SID) および関連するアドオン サービスでは、月単位または年単位の定期課金や超過分の充実に、使用可能なファンド残高が継続的に使用されます。サービス ID (SID) がファンド残高を使用しないよう変更して、発注書ベースの月払いまたは年払いのオプションに切り替えることは、更新時にしかできません。また、月単位または年単位で請求されているサービス ID (SID) を既存のファンド残高を使用するよう切り替えることも、更新時にしかできません。前払いしたサービス ID (SID) と VMware から直接購入したサービス ID (SID) は、いつでも既存のファンド残高を使用するよう切り替えることができます。この切り替えは、次の月払いサイクルの終了後に有効になります。

サービス ID (SID) の パートナーの変更

お客様には現在、引き換えや更新など特定のイベント時のみ、認定パートナーをサービス ID (SID) と関連付けるオプション¹⁶ をご利用いただけます。一般的には、ファンド (Fund) やサービスの管理についてサポートを受けるために、既存の取引関係に基づいてパートナーをサービス ID (SID) に関連付けます。指定されたパートナーには、サービス ID (SID) の詳細情報とファンド残高へのアクセス権が付与されます。詳細については、spp@vmware.com までお問い合わせください。

ファンド残高、料金表、およびサービス ID (SID) の通貨の変更

ファンド残高は、SPP クレジットを購入したときと同じ通貨で維持されます。そのため、このファンド残高で引き換えたサービス ID (SID) では、ファンド残高と同じ通貨による料金表が使用されます。ファンド残高、料金表、およびサービス ID (SID) の通貨を変更することはできません。

返品と交換

いったん購入した SPP クレジットは、返品したり、他の製品やサービスと交換したりすることはできません。提供済みの VMware サブスクリプション サービスの停止、途中解約、および全面的な解約には、TOS が適用されます (TOS については www.vmware.com/jp/download/eula をご覧ください)。

過失による引き換えの誤り

VMware は、サービス (SKU) や数量を間違っただけで選択するなどの、お客様の過失による引き換えの誤りについては一切責任を負わないものとします。

EPP トークン、SPP クレジット、CCPP クレジット

Enterprise Purchasing Program で購入したトークン、Subscription Purchasing Program で購入したクレジット、および Cloud Credits Purchasing Program で購入したクレジットを交換したり組み合わせたりすることはできません。

SPP 期間の終了

ファンド (Fund) オーナーおよびファンド ユーザー (Fund User) は、期間が終了するまでにファンド残高を使い切る必要があります。引き換えられなかった SPP ファンド残高はすべて、SPP 期間の終了とともに有効期限が切れます。

¹⁶ このオプションは、SPP クレジットを認定 VMware サブスクリプション サービス パートナーから購入した場合にのみ利用できます。SPP クレジットを VMware から直接購入した場合や認定パートナー以外のパートナーから購入した場合は、パートナーを指定するオプションは利用できません。

